

# Helen Storrow Seminar 2019



## Newsletter



ヘレン・ストロー セミナー2019  
ニュースレター

埼玉県第3団 栗原聖香・千葉県第8団 宮城遥

【ヘレン・ストロー セミナー2019】

・日程：2019年1月30日から2月6日まで

・場所：アワシャレー（スイス・アーデルボーデン）

・対象：18歳から25歳のガールスカウト

・参加者数：36人

・参加加盟連盟：26加盟連盟

### アワシャレーへの道

1月30日の朝、電車でチューリッヒ中央駅を出発して首都・ベ



ルンを通り過ぎ、フーティガンで下車。そこからバスでアデルボーデンへ。そして、迎えに来てくれたアワシャレーの車で無事に到着。日本から約15時間の旅でした。

### ヘレン・ストロー セミナーとは？

ヘレン・ストロー セミナーはガールガイド・ガールスカウト世界連盟（WAGGGS）とアワシャレーが主催するセミナーです。1986年に始まり、2012年からテーマを「環境問題」に特化しています。世界中から集まるガールスカウトとスイスの自然を感じ各国の「環境」問題を共有し、現状を「チェンジ」するために自らのプロジェクトを形成し、帰国してから「リーダーシップ」を発揮して実践していけるように考えられています。

### ヘレン・ストローってどんな人？

1864年にアメリカで生まれ、最初のワールドセンターであるアワシャレーの建設のために寄付をしました。



## 日程表

1月30日	1月31日	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	2月6日
到着	朝食						
	開会式 導入セッション	リーダーシップ 実践のための理解	マインドセット を日常生活で使 おう	リーダーシップ 物語	プロジェクトを デザインする	門番を動かせ	みんなからの フィードバック
	休憩						
	素敵な自然を見 つけよう	リーダーシップ 実践のための理解	去年の参加者に 話を聞こう	SDGsの理解を 深めよう	プロジェクトを デザインする	門番を動かせ	みんなからの フィードバック
	昼食						
	スイスの環境へ の取組を知ろう	協力してイグ ルー作り	環境リーダーを 知ろう	自分の物語を シェアしよう	スイスアルプス でそり遊び	変化を起こすた めの準備	自分への手紙
	休憩						
	各国の環境問題 を共有しよう	協力してイグ ルー作り	村探検	自分の物語を シェアしよう	スイスアルプス でそり遊び	みんなからの フィードバック	アンケート
夕食							
アイスブレイク	WAGGGSクイ ズ大会	スイスナイト	自由時間	中国のお正月	キャンプファイ アー	インターナショ ナルナイト	閉会式 解散パーティー

## 印象に残ったプログラム

### WAGGGS クイズ大会



WAGGGS についてのクイズに挑戦しました。パトロール対抗で4択の中から答えを選び、正解だったら賞金が増え、不正解だったら賞金が減られます。残念ながら私たちのチームは1番にはなれませんでした。とても勉強になりました。

アワシャレーから15分下り、25分くらい歩いた所にあるスキー場に行き、そりを楽しみました。スキーやスノーボードをする人の間を滑ったので怖かったです。私たち以外にも多くの方がそりを楽しんでいました。



### スイスアルプスでそり遊び



### 中国のお正月

香港から来たガールスカウトが中国の旧正月（2月5日）について教えてくれました。日本と同じように干支があり、日本は猪で中国は豚の年であることやお年玉（マレーシアからコイン）をもらいました。日本の正月についても紹介しました！

2018年のセミナーに参加した人からプロジェクトについて電話会議で話を聞きました。日本からも去年の参加者が参加していてとても励まされましたし、帰ってからおこなうプロジェクトに対してもワクワクしました。

### 去年の参加者に話を聞こう



### 協力してイグルー作り



チームにそれぞれ世界の地域が割り振られ、その地域を表現したかまくら作りに挑戦！ みんなかまくらなんて作ったことがなかったので、互いに案を出し合いながら、どうにか時間内に壁までは作ることができました！ 屋根なしだったけどね。

今まで自分がリーダーになった経験を発表しました。みんな思い思いのやり方で発表に挑戦！ たくさんの方の前で自分の経験を話すことは緊張しましたが、話した後に「あなたの発表はよかったよ！」とたくさん声をかけてもらったのが嬉しかったです。

### 自分の物語をシェアしよう



### 門番を動かせ



各チームでお題（環境問題）に対してプロジェクトを考え、それを実現させるために協力してもらいたい人を説得させるゲームでした。栗原のチームは市のゴミ問題を解決するためにリサイクルの方法を考え、市長（門番）に取り組んでもらえるよう提案をしました。

自分の良いところってなんだろう？ 自分のどんなところがみんなの助けになるのだろう？ と考え、みんなを助けるスーパーウーマンの絵を自由に描きました。みんなそれぞれ個性的な絵で、とてもおもしろかったです！

### 変化を起こすための準備



## セミナーを通して感じたこと

### 度胸って大事！

セミナーはすべて英語でおこなわれました。英語で言ってもうまく伝わらなかつたりして、自分に自信がなくなってしまうことが多々ありました。それでも必死にボディランゲージやノートに言いたいことを文字に起こして伝えることで、自分の思いを伝えようとしました。「私だって言いたいことがあるんだ！」という思いをもって必死に取り組んでいたら、自分にも意見を求めてくれるようになりました。どんなに言葉の壁があっても、自分の気持ち次第でどんな状況も乗り越えられる！と改めて感じました。

### 話し合うこと、助け合うことって大事！

今回のセミナーでは、良いリーダーシップを発揮するために必要な6つの心構えを学びました。その中で「互いを認め合い、意見を尊重できること」がリーダーにとって重要なことだとたくさんのゲームを通して理解しました。栗原のチームでは、「みんなそれぞれ異なる文化があるから、それらを理解するためにはまず話を聞くことって重要だよね」「でも、自分の正直な気持ちを打ち明けるって難しいよね」「だからこそ、互いの意見を尊重しあう必要がある」と話し合うことができました。

## 感想

### 千葉県 第8団 宮城 遥

英語を話すことに対する苦手意識を再認識しました。毎日新しい情報や英語で頭がフル回転し、夜になるとへとへとでした。しかし英語が母国語ではない参加者が自分と同じように困難を抱えていることに気づき、みんなで協力して理解を深めることができました。交流を深める中で、無理して背伸びをしすぎなくても大丈夫だと思えました。

このセミナーは参加して終了ではなく、帰国後に参加者が行動を起こしていくことが問われます。不安に感じることもあります。しかし、昨年のセミナー参加者や世界中のガールスカウトのプロジェクトの始まりは私たちと同じように本当に小さな一歩だったのだと強く感じることができました。社会人になって小さく縮こまっていた自分にエールを送られ、また次の世代のために私ができることはまだまだたくさんあると思えるようになりました。

今回セミナーに参加するにあたって応援してくださったすべての皆さん、ありがとうございました。これからも活動報告も含め、プロジェクト実施にご支援ご協力お願い致します。



### 埼玉県 第3団 栗原 聖香

アワシャレーで過ごした1週間は、私にとってかけがえのない経験になりました。セミナーには今まで交流したことのない国の人がたくさんいて、異文化を学ぶ機会になりました。

セミナー中では、毎日どのくらいの食べ残しが出たのかグラフを掲示していたり、コンポストがあったり、プログラムだけでなく常に環境問題について考えさせられる生活で、自分の環境問題に対する意識も変化しました。そして、ガールスカウト・ガールガイドであることを誇りに思い活動をしている参加者と過ごすうちに、私もできる！仲間に入れて！と思うようになりました。これからプロジェクトを進めて、日本のガールスカウトはこんなことができるんだ！と世界に発信していけるようになりたいです。海外派遣に参加することも、ワールドセンターに行くことも初めてだったので、たくさんの人に助けられながら準備を進めました。かつ、社会人なので、仕事をしながらセミナーの準備を進めることは大変でしたが、多くの人のサポートと励ましのおかげで無事にセミナーを修了することができました。たくさんご支援いただき、本当にありがとうございました。



# 私たちのプロジェクト

私たちはセミナーを通して資源の無駄使いを減らし、ゴミ問題に対して行動を起こすことで自然を守っていききたいという共通の思いがあることに気づきました。そこでセミナーで知った「アップサイクル」を日本のガールスカウト全体で取り組んでいけるように、プロジェクトを企画することにしました。

## 「アップサイクル」とは？

古くなったものや使わなくなったものなどゴミとして廃棄されるものをより価値のあるアイテムに作り変えることです！

## 「リサイクル」とはどう違うの？

「リサイクル」は再循環といってゴミを新しいものとして再利用することです。「アップサイクル」は「リサイクル」の概念のひとつで、ゴミそのものに工夫を加えて、さらに利用価値をつけ再利用することを意味しています。アップサイクルは、自分たちの工夫次第でゴミをまた使えるものに変えることができ、誰でも楽しくゴミ問題解決に協力することができます！

## 私たちが「アップサイクル」に注目したきっかけ

### 実際に取り組んでいる仲間に出会いました。

今回私たちはセミナーの話の中で「アップサイクル」という言葉を知りましたが、実際に既に取り組んでいる参加者もいました。

例えば、フランスの参加者は、自分もっていたペットボトルケースを、トマトケチャップが入っていたビンにかぶせて、オシャレに水筒として使っていました。ちょっとした工夫で、ゴミをオシャレなものとして使えるなんて、なんてカッコいいんだ！と

興味をもちました。



### 日本人らしさ、ガールスカウトらしさを感じました。

2018年のヘレン・ストロー セミナーに参加した河村さんと山田さん(ゆゆ&まさ)の Edo Style プロジェクトに倣うと、日本人は昔から、ものは大事に長く使いたいという「もったいない」精神をもっています。

また、ガールスカウト活動で私たちはたくさん「つくる」経験をしてきていると思います。例えばキャンプでは竹でテーブルを作ったり、普段の集会では紙袋と糸でシッタポンを作ってみたり。思い返せば、私たちガールスカウトは小さいころからたくさんクラフトをしてきました。アップサイクルは、ものを長く大事にするためのクラフトです。日本のガールスカウトが取り組むにはぴったりなのでは？ と思ってしまったのです。

私たちはこれから「アップサイクル」について更に調査し、その方法を発信し、一体ゴミは私たちの工夫でどのように再利用できるのかを伝えていきたいと考えています。私たちのプロジェクトを通して「アップサイクル」に触れることで、少しでも環境問題に目をむけてもらえるよう活動していきます。

2020年のガールスカウト日本連盟 100周年におきて、

日本のガールスカウト全体で**アップサイクル**に取り組みたい！

